

WMH マスターズ ホッケー ワールドカップ 2022 Tokyo

2022年1月

公益社団法人 日本ホッケー協会 マスターズ部会



本大会の概要

- ▶ **大会名:**WMH Masters Hockey World Cup 2022 Tokyo
- ▶ **内 容:**世界各国の60歳以上の男子シニアによるホッケーの国別・年齢別対抗戦
- ▶ **日 程:**2022年10月19日(水)~29日(土) 11日間
- ▶ **会 場:**大井ホッケー競技場2面(サウスピッチ、ノースピッチ)、
駒沢オリンピック公園第一球技場 合計3面
- ▶ **参加国:**約20ヵ国、約50チーム
- ▶ **種 別:**男子60+、65+、70+、75+、80+の国別対抗戦、
及びSpirit Of Masters(国代表の第2チーム対抗戦)
- ▶ **主 催:**公益社団法人 日本ホッケー協会(JHA)
- ▶ **公 認:**国際ホッケー連盟(FIH)、世界マスターズホッケー(WMH)
- ▶ **主 管:**東京都ホッケー協会(THA)、日本ホッケー協会マスターズ部会

本大会の特徴と意義

- ▶ “WMH マスターズホッケー ワールドカップ 2022 Tokyo”は、日本で開催される数少ない国際競技大会の一つです。
- ▶ 60歳以上のシニア世代が、国の代表として誇りをかけて熱戦を繰り広げるとともに、世界のホッケー仲間たちと親睦を深めることが本大会の特徴です。
- ▶ 準備活動から運営までほぼすべてを、日本のマスターズホッケー関係者を中心に、おもてなしの精神に則り、ボランティア活動で行います。
- ▶ 人生100年時代、超高齢化社会の日本では長く豊かに生きることが大きなテーマです。クオリティ・オブ・ライフ(QOL)を豊かにすることが個人にも社会にも重要な課題となる中で、QOLを高めるシニア世代のスポーツの象徴とも言える大会です。
- ▶ スポーツ庁が2017年4月に策定した「スポーツ基本計画」の4つの方針をまさに具現化する大会でもあります。

Masters Hockey World Cupとは

- ▶ 2002年から2年に1回、世界各地で開催されている60歳以上の国際ホッケー大会。

＊WMH(World Masters Hockey)は2019年1月にWGMAとIMHAが統合した新組織。

WGMA(World Grand Masters Association)、 IMHA(International Masters Hockey Association)

- ▶ これまでの開催国は2002年マレーシア、2004年ギリシア、2006年ドイツ、2008年香港、2010年南アフリカ、2012年イングランド、2014年オランダ、2016年オーストラリア、2018年スペイン。2020年は日本での開催が決定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により2022年に延期。
- ▶ 前回大会は2018年6月20日からバルセロナで開催され、世界24カ国、79チームが参加。日本からは60+、65+、70+の3チーム、約50名が参加。